

新たな経済活性化指針 「ながと6G構想」を策定！

人口減少はかつて経験したことのない勢いで進行しており、後継者不足や消費の落ち込みなど地域経済に悪影響を及ぼしています。一方で、新型コロナウイルス感染症に対応した「新たな日常」やグローバル化、ICT化が進み、社会経済情勢はめまぐるしく変化しています。

この「令和」の時代を勝ち抜くために、10年先の将来を見据えた本市の経済活性化の指針として「ながと6G構想」を策定しました。

高速・低遅延・多接続の特徴がある第5世代移動通信システムⅡ通称「5G」。地方であっても先端技術などをいち早く導入し、スピーディかつグローバルに展開することで「稼ぐ力」を獲得し、好循環を生む必要があります。 「ながと6G構想」の「6G」には、「5G」を超える高みを目指し、地域産業を振興したいとの意味を込めています。

将来像

未来を担う「若者」が輝くまち

次代を担う若者が、地域を盛り立て、
地方でも集い活躍できる持続可能な産業・まちを目指します。

「稼ぐ力」の獲得

経済成長を支える3つの視点

域内循環の促進

シームレスな連携

生産性の向上

IoT・AIの常用

外部活力の活用

経営の多角化

激変する社会に耐えうる強い足腰を形成！

経済成長を支える6つのG（柱）

Gain

【獲得】

新産業・新事業の獲得

企業誘致や新たな価値を生み出す新事業、企業間の連携強化など

成長を支える基盤づくり

Ground

【基盤】

産業基盤の強化

生産性を向上させるための各種整備、産業のスマート化推進

Growth

【育成】

人材の確保・育成

人材マッチングの強化、技能実習やセミナーなどの開催

Gather

【集合】

関係・交流人口の創出

情報発信力の強化、マーケティング力の強化、イノベーション人材育成

Glocal

【世界】

積極的な交流の推進

地域間・国際間交流の促進及び発展、広域連携による魅力の一体化

Gap

【差別化】

特徴的な産業の育成

新たなビジネスモデルの創出、地域資源の磨き上げ・魅力向上

成長を推進するエンジン

キーワードは「稼ぐ力」

激変する社会情勢に柔軟かつスピーディに対応するために、本市産業が競争力を強め、「稼ぐまち・稼げるまち」に生まれ変わる必要があります。

本市のみならず全国的に、人口減少によりマーケットが縮小し消費が落ち込んでいます。また、本市では、人手不足が深刻であるほか、観光宿泊業など外から来た観光客などから稼いだお金が地域内で循環せず外に流出しているという課題があります。

このような中でも、「稼ぐ力」を高め、成長し続けることが重要です。本市産業が抱える課題とそれに対する解決策を「生産性の向上」「域内循環の促進」「外部活力の活用」の3つの視点で整理しました。そして、6つのG（方針）を柱として、今後、各施策を実施していきます。

現在の本市がおかれている危機的状况をピンチではなくチャンスとして捉え、稼ぐ力を強化することにより、持続可能な長門市の未来を創造します。

未来を担う若者が

輝くまちへ

本構想では「若者」を、「時代に適応し、チャレンジ精神を持って、柔軟性がある人」としています。予測不可能な時代だからこそ、次代を担う若者が中心となり、新たな変化に臆することなく挑戦する姿勢が必要で

す。

若手事業者へのヒアリングでキーワードがいくつか挙がりました。生産性の向上、広域連携、地産地消、人材マッチング、経営の多角化・・・現状に課題を感じつつも若手事業者の皆さんの前向きな姿勢、将来や地域に対する熱い思いを受け、将来への希望が見えました。

持続可能な長門市の

産業のために

長門市は、「魅力ある農林水産物」「食文化」「自然」「温泉」「アクティビティ」「やさしさあふれる人」などの多様な地域資源を有しています。

次代を担う若者が、地域資源を十分に活用して、先輩の知恵・ノウハウおよび行政などの後押しに、自らの経験とアイデアをプラスして、夢を叶え、地域を盛り立て、地方でも若者が集い活躍できるまちを目指します。

10年後の将来を見据えた本構想のもと、今後は基本方針に掲げた6つの「G」を推進することで、市内事業者の思いや事業を強く支援します。地方でも若者が誇りを持ち、活躍できるまちの実現に向けて、市では本構想に基づき、産業振興施策を推進します。

産業戦略課

戦略マネジメント班

☎ 23 - 1177

ながと6G構想は市ホームページから▼



若手事業者へのヒアリング内容

人手不足と高い離職率が大きな経営課題ですので、ITやデジタルを使った業務効率化のシステムを導入しつつあります。また、長門市だけにとどまらず、市や県域を越えた広域観光の取組を推進すべきと思います。

宿泊業 A氏



来店されるお客様に地域産品の魅力を知ってほしいので、地域産品を活用したメニューを作りたいのですが、地域内からの仕入れが難しい状況です。今は知り合いから仕入れをなんとか確保しています。

飲食業 B氏



養鶏業を営んでいます。経営を発展させて事業の多角化をしたいのですが、人材とノウハウの部分で悩んでいます。人材のマッチングやノウハウを学ぶ機会があるとよいのですが、事業を発展させて市に貢献したいです。

養鶏業 C氏



漁業に従事していますが、数年前より漁獲量が落ちこんでいます。現在は、ほぼ遊漁で生計を立てています。時代や流行の変化に対応した新しいことに取り組んでいく必要性を強く感じています。

水産業 D氏



次代を担う若者のために

新たに起業する若者の取組を支援します！

ながと6G構想に掲げる「未来を担う若者が輝くまち」の実現に向けた取組として、「若者起業家支援事業」を実施します。クラウドファンディング型ふるさと納税で集めた寄附を財源とし、起業に必要な資金の一部を補助金として交付します。

「若者」とは「時代に適応し、チャレンジ精神をもって、柔軟性がある人」のことをいいます。

■補助金額 事業費の2分の1（上限150万円）に、クラウドファンディング型ふるさと納税で集めた寄附額を上乗せ（諸経費を除く）

■対象者 市内で新たに起業する個人または法人

■募集事業者数 3事業者

※募集期間や応募方法は今後市ホームページなどでお知らせします

■問い合わせ

産業戦略課戦略マネジメント班 ☎ 23 - 1177

基幹産業のひとつ、農業の成長を

長門市、楽天グループ株式会社、楽天農業株式会社で農業連携協定

耕作放棄地を活用し、環境負荷を抑えることで未来につながる持続可能なオーガニック農業の推進に取り組みます。また、新しく農業で働く人や新しい事業を支援することで、農業の成長を促進します。

